

自己評価表 集計結果 (職員向け)

公表日：令和5年3月1日  
事業名：放課後等デイサービスASTEP

※ % (割合) 表示

	チェック項目	はい	どちらとも 書えない	いいえ	意見	意見に対する対策等
環境・体制整備	1 利用定員が指導員調整等スペースとの関係で適切である	85	15	0	不安定な定員が調子の悪い場合に疑問を感じることがある 利用定員10名に対して広いスペースを十分確保できている	静電が必要時に、静電室（相対室）が使用されている時の服装を もって対応していきます。
	2 職員の数配置は適切であるか	85	15	0	指導員が揃って付く必要がある時（主に制作）では手が足りない場面もある。 概ね適切ではないかと感じている 児童指導員+加配の職員を配置している	限られた資源（人員）で効率性をもちた動きができるよう指導していきます。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	71	29	0	事業所へ上がる階段について 可能な限り配慮をしている	階段の昇降については指導員が必ず補助（即を抱える等）を引き続き 行っています。
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	85	15	0	日報からの振り返り共有が難しい事が多い。 思いついた意見を出している 朝の会議で振り返りを行っている	長期休みの時の事務的な業務の時間がとれるよう時間後の取り組みを 検討していきます。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	100	0	0	毎年実施されている	貴重な意見を聞いて、今後の業務運営の資としています。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	100	0	0	ホームページのブログ、インスタグラム等のSNSで情報発信している	集計結果をホームページに掲載しております。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	100	今のところはなし、今後検討してもらいたいところ	現在のところ検討なし、事業規模拡大によっては検討を視野に入れています。
	8 職員の資力の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	100	0	0	入職してまだ日が浅いため、まだ一度であるが、良い意見交換ができた 研修を実施している	月に1回を基準として、月に2回にテーマを設定し1~2時間程度、研修 会を行っています。（合同研修を含む）
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100	0	0	保護者の意見の取り扱いが適切になされていると感じる 児童発達支援管理責任者がモニタリングを行い必要な補正を踏んで 計画作成がなされている	利用希望に伴い、個別支援計画が単体とならないよう、指導員 会議の時間を十分に確保し、議論していきたいと考えています。
	10 子どもの個別行動状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	100	0	0	その場で使用する 社内アプリを使って子どもの特性等を確認できるようにされている。	社内アプリのアップデートを回り、実用性のあるものにていきます。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っているか	100	0	0	他事業所との連携がなされていると感じる 所長を明確にして計画立案されている	各セクション（製作・食育・LST・SST等）で区分し、セッションプラン を作成しています。
12 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	100	0	0	児童、保護者の利用状況変化が早い 固定化はしていない、必要なことをピックアップして反映されている 印象	コロナ禍の特性上、室内活動が多い年となったが、室内活動のバリエーション を考えながら実践できたと考えています。	
13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	100	0	0	事前の話し合いがしっかりなされていると感じる 季節の特性を捉えて活動や課題を設定している 季節ごとの課題での活動メニュー 季節ごとの新案あり、年度ごとの個別課題はできていないが、 個別一環目の流れがしっかりと連携している	定期的な行事等も行っていますが個別化しないよう工夫を怠ってま いりません。	
14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適切に組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	85	15	0	個別一環目の流れがしっかりと連携している	個別支援計画に生活力の向上を見込んだ目標・結果を記述する項目 設定を検討しています。	
15 支援開始時には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	85	15	0	朝来し役目を指示されることがある(不備ではない) 朝の会議で確認している	活動立案者主導で周知をしています。安全管理事項については漏れ なく実施しています。	
16 支援終了後は、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	85	15	0	長期休暇中などは話し合う時間を設けることが難しい 朝の会議でレポートしているが長期休暇の時はなかなか難しい	支援終了当日は各指導員の子どもへの評価（教育日記の作成）を行 い、支援日に指導員との共有を行っています。 長期休み時は時間確保のための取り組みを行っています。	
17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の経緯、改善につなげているか	100	0	0	記録はしているが準備が前日や当日になる事がある。 日報や教育日記への記録がなされている 記録保存をデータ管理して行っている	日報及び教育日記を中心に記録をとり、必要な情報を指導員がいつ でも閲覧できるよう工夫しています。	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しを判断しているか	100	0	0	半年に1回のモニタリングを行い計画の修正がなされている	半年に1回のモニタリング、個別支援計画のアップデートを行って います。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	100	0	0	ガイドラインを元に支援を行うことも独自の活動も実行している	ガイドラインの総則を理解するための研修機会を設定することもあ りつつあります。	
20 指導員は支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した量もあつた職員が参画しているか	100	0	0	ケース会議等、子どもに近い指導員が会議に出席している	引当児童児童発達支援管理責任者が先着して出席し、同席可能な 学校職員も参加します。	
21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの欠席時の確認等）、連絡調整（保護者の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	100	0	0	事業所の携帯で不測事態には継続して対応法を研んでいる。今のと ころ問題なし	学校との情報共有はできる限り行っていますが、学校によっては先 生と対面することができない場合もあるため、保護者を通じて情報 伝達をお願いするようになっています。	
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	100	0	連絡する医療機関に今のところかかりつけたことはない	医療的ケア等のご利用者はいらいらしてませんが、必要に応じ 連携していきます。	
23 放課後に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等の間で情報共有と相互理解が図られているか	100	0	0	管理者が積極的に連携されている 今のところは相談支援事業所の担当者とのモニタリングのみ、場 によっては検討する必要があると思う	放課前に保育室（幼稚園）へ情報を提供いただくためのアプローチ を行っています。	
24 学校を交流し、放課後等デイサービス事業所から児童福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	0	100	0	職員が聞いたため何とも書えない 今のところそのようなケースはない	現在のところ該当する利用者さんはおりませんが、積極的に連携、 情報共有を行っています。	
25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	15	85	0	今後、そのような現場に携わってみたいと感じる 狭小病院の発生と相談している場面はあった	虐待や家庭内問題を抱える方々に対して、情報共有できる機 会を整えてあります。（実施あり）	
26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	71	29	まだそのような機会に接していない スポーツ活動等で交流する機会があったものの、コロナで少なくな った	タグラブビーで地域の子どもたちと関わる機会を設定しています。 また、通常の活動でも交流する機会を設けています。	
27 「地域自立支援」協議会等へ積極的に参加しているか	100	0	0	職員が聞いたため何とも書えない 管理者は協議会に定期的に出席している	引き続き、連絡会の研修を望みながら教育支援の質向上に努 めてまいります。	
28 日報から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	100	0	0	できていないと感じる LINEで電話で状況をヒアリングしている	教育日記、お返り状、モニタリング、LINE等を活用し、共通理解を 持ってまいります。	
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	100	0	0	管理者が中心となって実施されていると感じる 家での子供、今後の展望など、必要に応じて提案している 今後、そのような現場に携わってみたいと感じる	事業所の関わりが中心であり、ご家庭での関わりが最も重要な 点について更に意識していただけるようお伝えしていきます。	
30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	85	15	0	社内アプリやメールで周知できる環境にある	運営規程をわかりやすい形式で重要事項説明書であるという周知は できていなかったのが現状です。 運営規程に対する理解については少しずつ丁寧に説明していきます。	
31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	100	0	0	LINEで電話で助言が行われている	業務の隙間で対応できることもあるため「相談を受けた時点から 支援開始」の意識を周知できるよう指導してまいります。	
32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	15	85	感染症の感染で難しい コロナ蔓延により現在は断念している状況	現状は実施できず、情勢等を鑑み実施を検討しています。	
33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100	0	0	しっかりなされていると感じる 管理者を苦情対応責任者として設置しているが苦情は今のところ あまりない印象	預託した苦情は管理者が責任をもって対応してまいります。	
34 定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100	0	0	LINE等を利用し、しっかり実施されている HP、LINE、インスタで積極的に発信している	引き続きLINE、ホームページで丁寧に情報を発信してまいります。	
35 個人情報に十分注意しているか	100	0	0	しっかりなされていると感じる 張り紙には表紙をつけたり、データにはパスワードをかけている	紙媒体の保管にあわせて、PCの管理についても徹底してまいりま す。	
36 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	85	15	0	意思疎通を図るために工夫されている	伝わる言葉、伝える力を身につけられるよう、指導員に対し日々指 導を継続します。	
37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っているか	0	71	29	感染症・利用児童の特性もあり難しい 知る限り、内覧会に限られている(児童の特性上、仕方ないと感じる) 今のところはなし、今後検討してもらいたいところ	現状は実施できず、情勢等を鑑み実施を検討しています。	
38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	71	29	0	大抵の際に発生した 社内アプリやメールで周知してきている印象	LINEを中心に簡やかな情報発信できるよう努めます。	
39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、誘導、救出のための必要な訓練を行っているか	100	0	0	避難訓練を行っているが職員・児童共に経験していないが、 避難経路を使用した訓練を導入したいと感じる 半年に1回の訓練が適切に行われている。BCPに基づいた訓練の 必要性も検討するべき	状況の子どももの様子を観察し、適切な行動が図れるための 訓練を継続してまいります。	
40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	100	0	0	研修で実施した 研修で虐待事例を取り上げて、ケース会議が行われた	身体的な虐待、ネグレクト、虐待に起因する脅威等、網羅できる研 修機会を設定して実施します。年1回は必ず実施する方向で検討しま す。	
41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	85	15	0	運営規程に示されている	上記に加え研修機会を設けます。	
42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	15	85	0	職員が聞いたため何とも書えない 今のところは保護者の申し出により判断している	医師からの指示書を見つけたことがないため、保護者との相談の 上、適切に対応します。	
43 7ヶ月ハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	15	70	15	作成が不十分なところがあるため、今後記録していく	指導員に対して7ヶ月ハットの周知徹底に努めます。	